

令和5年度 社会教育主事による学校等訪問

主な内容

○公民館訪問

企業連携

・板倉町北部公民館・・・公民館に集まろう

「関東電気保安協会」の職員をゲストに実施されていました。専門性の高い職員のお話や、体験活動は子どもにとって大変有意義な時間となっていました。

地域課題解決

・館林市大島公民館・・・竹あかりまつり

地域に生い茂る竹藪の地域課題を地域資源へと発想を変換していました。デザインを子どもが考えることで、地域の子どもの活躍でき、地域住民が集える地域づくりへとつなげていました。

専門学生、大学生ボランティア

・みどり市笠懸公民館・・・公民館deスタディ

夏休みの子ども向け自主学習プログラムですが、支援ボランティアの募集方法に工夫が見られました。学生の長期休みを生かせるように、チラシに限らずSNSを活用して告知し、告知時期も考えられていました。ボランティアに参加した若者は、タブレット学習を提案するなど、やりがいをもって参画しており、公民館職員も柔軟に対応されていました。

○国庫補助事業等訪問

放課後子ども教室、地域未来塾の視察

・桐生市放課後子ども教室・・・天沼小学校、広沢小学校

12月の訪問となりましたが、季節行事に触れ、体験活動を通して実りのある時間を児童は過ごしていました。プログラムの内容は、コーディネーターが中心となり支援員と一緒にアイデアを練りあげていました。支援員は、支援センターですでに関わりをもたれた方々や、婦人会、市HPを見て参加されている親世代の方もいて、子どものために関われることにやりがいをもたれていました。

○学校訪問

地域と学校の連携・協働に係るコーディネートに関すること

・館林市西公民館・第十小地区防災まちづくり委員会主催の地域防災訓練

土曜日の学校公開に合わせた地域住民の防災学習でした。第十小学校5年生と大谷町区民が一緒になって、地域防災について考えていました。既存のハザードマップを実際に体験し、教員はファシリテーターに徹し、授業は安全安心課の職員が行っていました。地域防災という共通課題を、教育委員会と首長部局が連携し実施されました。